

令和4年度末時点における取組状況（新規・拡充の取組）
 視点1 安心・安全な冬期道路交通の確保

取組項目	種別	実施内容	策定時	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
				上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績		
(1) 効果的な除排雪の推進											
① 幹線道路の除排雪											
幹線道路（車道）の明け方降雪に対する対応強化	拡充	a 明け方降雪の対応強化に向け、作業路線の設定条件の見直し	実施	・作業マニュアル等の修正 ・優先路線の選定	・作業マニュアル等の修正 ・優先路線の選定	・作業マニュアル等の修正 ・優先路線の選定	・作業マニュアル等の修正 ・優先路線の選定	・作業マニュアル等の修正 ・優先路線の選定	・作業マニュアル等の修正 ・優先路線の選定	・作業マニュアル等の修正 ・優先路線の選定	○
		b 通常の除雪作業において深夜に終えている除雪機械について、朝方に作業を終えるような作業計画に改善させるため、作業マニュアルなどの検討		優先路線を施工計画書に明示	気象情報会社から詳細な早朝の降雪予報を送付	早朝の降雪予報に基づいた作業判断の周知	早朝の降雪予報に基づいた作業判断の周知				
バス路線の除排雪作業の強化	拡充	a 「路肩の狭いバス路線」について、排雪強化を行う路線（延長）を段階的に増やしていきます。	37km	60km (23km増) 61km (24kmを新たに選定)	83km (23km増) 85km (24kmを新たに選定)	106km (23km増) 108km (23kmを新たに選定)	129km (23km増) 132km (24kmを新たに選定)	129km (23km増) 132km (24kmを新たに選定)	129km (23km増) 132km (24kmを新たに選定)	129km (23km増) 132km (24kmを新たに選定)	○
		b 「路肩の狭いバス路線」について、新雪除雪と拡幅除雪の連続作業を進めます。	一部の路線にて実施	対象路線等の調査・検討 検討中	対象路線等の調査・検討 対象路線の聞き取り等	対応可能な路線から実施 87kmを選定し実施	対応可能な路線から実施 対象路線をから選定し実施				
バス事業者との連絡体制の強化	拡充	a 「大雪時の対応指針」に基づき警戒体制をとった場合には、速やかにバス事業者へ通知し、バス事業者から運休状況などの情報を得る体制を整備	—	「大雪時の対応指針」に基づいたこれまでの体制を継続 同上	「大雪時の対応指針」に基づいたこれまでの体制を継続 同上	「大雪時の対応指針」に基づいたこれまでの体制を継続 同上	「大雪時の対応指針」に基づいたこれまでの体制を継続 同上	「大雪時の対応指針」に基づいたこれまでの体制を継続 同上	「大雪時の対応指針」に基づいたこれまでの体制を継続 同上	「大雪時の対応指針」に基づいたこれまでの体制を継続 同上	○
		b バス事業者が進めるバスロケーションシステム（リアルタイムの運行情報を把握・配信するシステム）の導入補助を実施	準備	・導入補助 ・準備が整った路線から「さっぽろえきバスnavi」にて情報発信	・導入補助 ・準備が整った路線から「さっぽろえきバスnavi」にて情報発信	準備が整った路線から「さっぽろえきバスnavi」にて情報発信	準備が整った路線から「さっぽろえきバスnavi」にて情報発信	準備が整った路線から「さっぽろえきバスnavi」にて情報発信	準備が整った路線から「さっぽろえきバスnavi」にて情報発信	準備が整った路線から「さっぽろえきバスnavi」にて情報発信	○
		c バスロケーションシステムを導入したバス事業者4社のバスの位置情報などを統合して「さっぽろえきバスnavi」から情報発信		b バス事業者（4社）への導入補助完了 c テストページ作成・公開	バスの現在位置情報等を包括的に提供する「バスロケーション機能」の運用開始	バスの現在位置情報等を包括的に提供する「バスロケーション機能」の運用	バスの現在位置情報等を包括的に提供する「バスロケーション機能」の運用	バスの現在位置情報等を包括的に提供する「バスロケーション機能」の運用	○		
幹線道路と生活道路の交差点排雪の強化	拡充	a 除雪作業で積上げられた雪山により、見通しが悪化した幹線道路と生活道路の交差点の排雪強化	—	幹線道路と生活道路の交差点の排雪強化 (12,500箇所) 同上	幹線道路と生活道路の交差点の排雪強化 (12,500箇所) 同上	幹線道路と生活道路の交差点の排雪強化 (12,500箇所) 同上	幹線道路と生活道路の交差点の排雪強化 (12,500箇所) 同上	幹線道路と生活道路の交差点の排雪強化 (12,500箇所) 同上	幹線道路と生活道路の交差点の排雪強化 (12,500箇所) 同上	○	
② 生活道路の除排雪（除雪）											
生活道路の除雪方法変更に向けた検討	新規	今後の高齢化やそれに伴う担い手不足などの社会環境の変化に対応できるような作業方法について検討します。	—	試行実施 (2~4地域) 試行実施（3地域）	試行実施 (4~8地域) 試行実施（13地域）	試行実施 (8~16地域) 試行実施（23地域） (大雪により一部中止)	実証実験 (全体の1割) 同数程度で試行を継続 (18地域)	実証実験 (全体の1割) 同数程度で試行を継続 (18地域)	実証実験 (全体の1割) 同数程度で試行を継続 (18地域)	実証実験 (全体の1割) 同数程度で試行を継続 (18地域)	○
道幅が狭い生活道路の除雪対応の検討	新規	a 札幌市の除雪作業で使用している機械で作業可能な路線は、宅地に雪が入ることや塀が雪で押されることなど、作業を行うことによるデメリットに対して沿線住民の合意を得たうえで、除雪作業の実施に向けた検討を実施	調査	・現地確認 ・機械除雪が可能であれば作業を実施	・現地確認 ・機械除雪が可能であれば作業を実施	・現地確認 ・機械除雪が可能であれば作業を実施	・現地確認 ・機械除雪が可能であれば作業を実施	・現地確認 ・機械除雪が可能であれば作業を実施	・現地確認 ・機械除雪が可能であれば作業を実施	・現地確認 ・機械除雪が可能であれば作業を実施	△
		b 札幌市の除雪で使用している機械で作業できない路線について、地域の実態を把握したうえで対応方法を検討	調査	対応方法の検討 検討中	対応方法の検討 ・8区の実態調査を実施 ・未除雪道路、不特定道路の精査	対応方法の検討 対応方法の検討	対応方法の検討 対応方法の検討	対応方法の検討 対応方法の検討	対応方法の検討 対応方法の検討	対応方法の検討 対応方法の検討	対応方法の検討 対応方法の検討
生活道路におけるザクザク路面の対応に向けた強化	拡充	a 気象予報やパトロールの結果からザクザク路面発生への予測に努め、適格に路面整正を実施	—	作業マニュアル等の修正 検討中	作業マニュアル等の修正 除雪作業マニュアルに基づく作業に向け、適宜、メールや各会議などで周知	ザクザク対応の強化を実施 除雪作業マニュアルについて、適宜、メールや各会議などで周知を継続し、的確な作業を実施	ザクザク対応の強化を実施 除雪作業マニュアルについて、適宜、メールや各会議などで周知を継続し、的確な作業を実施	ザクザク対応の強化を実施 除雪作業マニュアルについて、適宜、メールや各会議などで周知を継続し、的確な作業を実施	ザクザク対応の強化を実施 除雪作業マニュアルについて、適宜、メールや各会議などで周知を継続し、的確な作業を実施	ザクザク対応の強化を実施 除雪作業マニュアルについて、適宜、メールや各会議などで周知を継続し、的確な作業を実施	○
		b 現行の除雪方法から路面整正を基本とした除雪方法への変更を検討	—	「生活道路の除雪方法の変更に向けた検討」と併せて実施 試行実施（3地域）	「生活道路の除雪方法の変更に向けた検討」と併せて実施 試行実施（13地域）	「生活道路の除雪方法の変更に向けた検討」と併せて実施 試行実施（23地域） (大雪により一部中止)	「生活道路の除雪方法の変更に向けた検討」と併せて実施 同数程度で試行を継続 (18地域)	「生活道路の除雪方法の変更に向けた検討」と併せて実施 同数程度で試行を継続 (18地域)	「生活道路の除雪方法の変更に向けた検討」と併せて実施 同数程度で試行を継続 (18地域)	「生活道路の除雪方法の変更に向けた検討」と併せて実施 同数程度で試行を継続 (18地域)	「生活道路の除雪方法の変更に向けた検討」と併せて実施 同数程度で試行を継続 (18地域)

視点1 安心・安全な冬期道路交通の確保

取組項目	種別	実施内容	策定時	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		評価
				上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績			
② 生活道路の除排雪（排雪）												
パートナーシップ排雪制度の見直し	新規	排雪時に運び出す雪の量を抑えた作業方法の実証実験を拡大するなど、地域の費用負担額を抑えた新たな選択肢を加えた制度運用の見直しを進めます。	実証実験 2017：3団体 2018：40団体	現行断面を継続	現行断面を継続	現行断面を継続	現行断面を継続	現行断面を継続	現行断面を継続	現行断面を継続	○	
				実証実験の拡大	選択制の開始	抑制断面の本格運用	抑制断面の本格運用	抑制断面の本格運用	抑制断面の本格運用			
パートナーシップ排雪制度に関する地域の合意形成への支援	拡充	a パートナーシップ排雪制度に関する合意形成を図る地域に対して、実証実験に関する内容を含め制度の理解や協力を促すチラシを作成・配布	チラシの作成・配布	町内会への周知を強化 実証実験チラシの作成	町内会への周知を強化 「パートナーシップ排雪制度の見直し」と併せて実施	町内会への周知を強化 申請団体にチラシの回覧依頼 のぼり旗の作成	町内会への周知を強化 申請団体にチラシの回覧依頼	町内会への周知を強化 申請団体にチラシの回覧依頼	町内会への周知を強化 申請団体にチラシの回覧依頼	町内会への周知を強化 申請団体にチラシの回覧依頼	○	
パートナーシップ排雪制度の夜間作業への一部切替	拡充	a 夜間作業による効果や体制について調査 b 調査結果を踏まえた対応策の検討 c 地域と事業者が夜間作業を望む地域については、切り替えを推進	一部地域で実施	調査・検討 夜間作業による効果や体制について検討	理解が得られた地域から夜間作業を実施 実態の把握	理解が得られた地域から夜間作業を実施 対応策の検討	理解が得られた地域から夜間作業を実施 対応策の検討	理解が得られた地域から夜間作業を実施 対応策の検討	理解が得られた地域から夜間作業を実施 対応策の検討	理解が得られた地域から夜間作業を実施 対応策の検討	△	
民間排雪サービスの利用状況を踏まえたパートナーシップ排雪制度の地域負担のあり方の検討	新規	a 民間排雪サービスの利用状況がパートナーシップ排雪制度の排雪量に及ぼす影響を調査 b 調査結果を踏まえた対応を判断	調査	追加調査・検討 実施：4団体	「パートナーシップ排雪制度の見直し」と併せて実施 調査結果取りまとめ	「パートナーシップ排雪制度の見直し」と併せて実施 令和2年度完了	「パートナーシップ排雪制度の見直し」と併せて実施 令和2年度完了	「パートナーシップ排雪制度の見直し」と併せて実施 令和2年度完了	「パートナーシップ排雪制度の見直し」と併せて実施 令和2年度完了	「パートナーシップ排雪制度の見直し」と併せて実施 令和2年度完了	◎	
④ 歩道の除雪												
歩道の明け方降雪に対する対応強化	拡充	a 明け方降雪の対応強化に向け、作業路線の設定条件の見直し b 通常の除雪作業において深夜に終えている除雪機械について、朝方に作業を終えるような作業計画に改善させるため、作業マニュアルなどの見直し	実施	作業マニュアル等の修正 優先路線の選定 優先路線を施工計画書に明示	作業マニュアル等の修正 優先路線の選定 気象情報会社から詳細な早朝の積雪予報を送付	明け方降雪への対応を強化実施 早朝の降雪予報に基づいた作業判断の周知	明け方降雪への対応を強化実施 早朝の降雪予報に基づいた作業判断の周知	明け方降雪への対応を強化実施 早朝の降雪予報に基づいた作業判断の周知	明け方降雪への対応を強化実施 早朝の降雪予報に基づいた作業判断の周知	明け方降雪への対応を強化実施 早朝の降雪予報に基づいた作業判断の周知	○	
(2) 凍結路面対策の推進												
① 道路種別に応じた路面管理												
車道の凍結路面対策の強化	拡充	a 道路種別や路線状況に応じた、計画的な凍結防止剤などの散布 b 部分的に凍結路面が発生した場合の滑り止め材の散布などの緊急対応を強化	実施	作業マニュアル等の修正 現行の取組を継続	作業マニュアル等の修正 過年度の交通状況を踏まえ、緊急散布で対応している路線を格上げし、延長を拡大	凍結防止剤等の散布を強化 過年度の交通状況を踏まえ、緊急散布で対応している路線を格上げし、延長を拡大	凍結防止剤等の散布を強化 過年度の交通状況を踏まえ、緊急散布で対応している路線を格上げし、延長を拡大	凍結防止剤等の散布を強化 過年度の交通状況を踏まえ、緊急散布で対応している路線を格上げし、延長を拡大	凍結防止剤等の散布を強化 過年度の交通状況を踏まえ、緊急散布で対応している路線を格上げし、延長を拡大	凍結防止剤等の散布を強化 過年度の交通状況を踏まえ、緊急散布で対応している路線を格上げし、延長を拡大	○	
② 歩道の歩行環境の改善												
歩道の凍結路面対策の強化	新規	a 「新・札幌市バリアフリー基本構想」で設定している生活関連経路やJR・地下鉄駅周辺など人通りの多い歩道（延長：約320km）において滑り止め材の散布回数を20回/年から40回/年に倍増するなどの強化を行います。 b 都心部などの緊急搬送人員が多いエリアについては、氷板除去などの強化を行います。	40回/年 0km	40回/年 64km 63.6kmを選定	40回/年 128km 114.2kmを選定	40回/年 192km 200.0kmを選定	40回/年 256km 59.4kmを新たに選定 (累計259.4km)	40回/年 256km 59.4kmを新たに選定 (累計259.4km)	40回/年 256km 59.4kmを新たに選定 (累計259.4km)	40回/年 256km 59.4kmを新たに選定 (累計259.4km)	○	
歩道における効果的な滑り止め材の散布	新規	a ウィンターライフ推進協議会などと連携し、歩行者から路面状況に関するリアルタイムの情報を取得 b 歩行者から取得した情報を活用し効果的な対応を実施 c ウィンターライフ推進協議会が発表している「つるつる予報」を活用し、積極的な滑り止め材の散布を実施	—	効果の検証と拡大の検討 先行して実施した強化作業を継続	効果の検証と拡大の検討 エリアにより作業手法を決定し、必要なタイミングで氷板除去を実施	効果の検証と拡大の検討 エリアにより作業手法を決定し、必要なタイミングで氷板除去を実施	効果の検証と拡大の検討 エリアにより作業手法を決定し、必要なタイミングで氷板除去を実施	効果の検証と拡大の検討 エリアにより作業手法を決定し、必要なタイミングで氷板除去を実施	効果の検証と拡大の検討 エリアにより作業手法を決定し、必要なタイミングで氷板除去を実施	効果の検証と拡大の検討 エリアにより作業手法を決定し、必要なタイミングで氷板除去を実施	○	
歩道の凍結路面対策に関する技術的な検討	新規	a 効果的な滑り止め材の散布や路面の氷板を処理する機械の検討 b つるつる路面の発生を抑制する工法の検討	検討	粗面形成装置の使用拡大に向けた検討 検討継続	粗面形成装置の使用拡大に向けた検討 R1年の検証結果を踏まえ、装置の構造等を検討中	粗面形成装置の使用拡大に向けた検討 検討継続	粗面形成装置の使用拡大に向けた検討 検討継続	粗面形成装置の使用拡大に向けた検討 検討継続	粗面形成装置の使用拡大に向けた検討 検討継続	粗面形成装置の使用拡大に向けた検討 検討継続	△	
③ ロードヒーティングによる路面管理												
安価な熱源の活用に向けた検討	新規	a 安価な熱源などの活用に向け、費用対効果、施設規模、周辺環境などを考慮しうえて、有効な方式については、施設更新にあわせて改修を検討 b 未利用エネルギーの活用に向け、民間技術の動向を把握しながら、効果的な活用方法の検討	—	有効な方式があれば更新にあわせて改修を検討 検討中	有効な方式があれば更新にあわせて改修を検討 安価な熱源で施設更新を実施	有効な方式があれば更新にあわせて改修を検討 安価な熱源で施設更新を実施	有効な方式があれば更新にあわせて改修を検討 安価な熱源で施設更新を実施	有効な方式があれば更新にあわせて改修を検討 安価な熱源で施設更新を実施	有効な方式があれば更新にあわせて改修を検討 安価な熱源で施設更新を実施	有効な方式があれば更新にあわせて改修を検討 安価な熱源で施設更新を実施	○	
				有効な方式について活用に向けた検討 検討中	有効な方式について活用に向けた検討 下水熱RH施工箇所の選定	有効な方式について活用に向けた検討 下水熱RHの調査・検討	有効な方式について活用に向けた検討 下水熱RHの調査・検討	有効な方式について活用に向けた検討 下水熱RHの調査・検討	有効な方式について活用に向けた検討 下水熱RHの調査・検討	有効な方式について活用に向けた検討 下水熱RHの調査・検討	○	

視点1 安心・安全な冬期道路交通の確保

取組項目	種別	実施内容	策定時	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
				上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	
(3) 大雪に備えた体制の確保								
① 「大雪時の対応指針」を基本とした体制の確保								
初冬期の大雪に対する臨機な対応	拡充	a 初冬期の大雪に対応するため、雪堆積場や融雪施設の早期開設	実施	初冬期の大雪時対応に必要な体制拡充に向けた検討	初冬期の大雪時対応に必要な体制拡充に向けた検討	必要に応じて順次拡充	必要に応じて順次拡充	○
		b 臨機な対応に必要な機材や人材を確保するための協力体制を構築		現行の対応を継続	初冬期の大雪がなかったため現行の対応を引き続き継続	初冬期の大雪対応を取りまとめ関係部局で共有	初冬期の大雪対応を取りまとめ関係部局で共有	
		c きめ細かな情報共有と連絡調整						
		d 関係機関との連携や役割分担に向けた調整						
② 大雪に備えた情報発信								
警報発表時における市民への注意喚起	拡充	a 札幌市のホームページやSNS（札幌市公式アカウント）、その他様々な媒体を活用した情報発信	-	大雪警報や暴風警報時における情報発信	大雪警報や暴風警報時における情報発信	大雪警報や暴風警報時における情報発信	大雪警報や暴風警報時における情報発信	○
		b 発信内容について検討・更新		関係課と連携した情報発信体制の確保（Twitter（札幌市公式アカウント））	関係課と連携した情報発信体制の確保（Twitter及びLINE（札幌市公式アカウント））	関係課と連携した情報発信（Twitter及びLINE） ・大雪対応HP開設	関係課と連携した情報発信（Twitter及びLINE） ・冬のくらしに着目した、啓発内容の拡充	
市民や観光客に対する情報発信	新規	a 札幌市ホームページに外国人を含む観光客向けの啓発情報ページを作成	-	効果的な情報発信を実施	効果的な情報発信を実施	効果的な情報発信を実施	効果的な情報発信を実施	◎
		b 大雪時に執るべき行動を取りまとめたパンフレットやチラシの作成・配布		冬の生活や防災に関する英語版ページを作成	冬の生活や防災に関する英語版ページを作成（更新）	必要に応じて掲載内容を更新	必要に応じて掲載内容を更新	
		c 啓発情報ページのPRチラシを作成し、観光協会やホテルなど観光客が手にしやすい施設に配架		内容の検討・配布先調整	パンフレットやチラシの作成・配布	パンフレットやチラシの作成・配布	パンフレットやチラシの作成・配布	
				検討中	ホームページの作成 ・テレビやデジタルサイネージなどを活用したホームページへの誘導広告の実施	ホームページの運用 ・ホームページの運用 ・テレビやデジタルサイネージなどを活用したホームページへの誘導広告の実施	ホームページの運用 ・大雪時に執るべき行動を冬のくらしガイド、啓発動画により周知 ・デジタルサイネージにおける啓発動画の放映	○

令和4年度末時点における取組状況（新規・拡充の取組）
 視点2 除排雪作業の効率化・省力化

取組項目	種別	実施内容	策定時	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
				上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績			
(1) 作業の効率化・省力化による生産性の向上												
① 作業の効率化・省力化												
除雪機械の1人乗り化【ICT活用】	新規	a 機械の更新に合わせて安全装置が搭載された1人乗りの機械を導入	22台	32台 (10台増)	43台 (11台増)	49台 (6台増)	56台 (7台増)	69台 (14台増)			○	
		b 現在使用中の機械にカメラやセンサーなどの安全装置を設置し、実証実験などにより安全状況を確認しながら1人乗り化を推進	4台	実証実験 16台 (12台増)	実証実験 43台 (32台増)	本格運用 85台 (37台増)	本格運用 121台 (36台増)					○
雪堆積場の選定システム【ICT活用】	新規	これまでは、各区の担当者が行っていた排雪作業の搬入先（雪堆積場）の選定を、今後は全市の視点で最適化するシステムを導入します	—	システム設計 運搬経路データベース作成	システム構築 ・システム開発に係る条件フォロー検討 ・AI活用検討（継続）	仮運用（システム改良）	システム設計	システム構築及び仮運用			○	
除雪機械の運行管理システムの導入【ICT活用】	新規	除雪機械にGPS受信端末を設置し、取得した位置情報などを活用して、作業状況を可視化するシステムを導入します	調査・検討	システム構築試験運用 (100台)	システム構築部分運用 (500台)	・全面運用（1,000台） ・最適な機械配置を検討するためのデータを除雪事業者へ提供	最適な機械配置を検討するためのデータを除雪事業者へ提供	除雪機械へのGPS搭載 (810台)			○	
ビッグデータを活用した作業支援の検討【ICT活用】	拡充	最新の気象データ、現地映像、バスの遅延情報などのビッグデータを活用し作業判断を支援するシステムの検討	—	—	—	—	—	—	ICTを活用した作業支援システムの検討		○	
			検討中	ドライブレコーダーによる道路状況の確認（撮影）	ドライブレコーダーによる道路状況の確認（撮影）	ドライブレコーダーによる道路状況の確認（撮影）	ドライブレコーダーによる道路状況の確認（撮影）				○	
② メリハリのある幹線道路の管理												
メリハリをつけた除排雪の実施	拡充	a 気象データ、プローブデータなどのビッグデータを活用し、交通の要所で冬期間に渋滞が発生しやすい交差点について、拡幅や路面の削り作業、凍結防止剤の散布作業などを強化	—	対象交差点抽出 要対策箇所抽出、対策強化の実施	10箇所 要対策箇所60箇所内、18箇所における対策強化	20箇所 未実施	30箇所 対策強化の実施				○	
(2) 雪対策施設の安定的・効率的な運用												
① 雪堆積場												
雪堆積場の運用見直し	拡充	a 排雪作業に必要な受け入れ量や箇所数を考慮しつつ、配置や運用方法の見直しなど、コストの削減につながるような取組を実施	—	調査検討	実施可能なものから順次見直しを実施（1箇所） 週休日の導入に関するデータ分析や取組必要の検討	実施可能なものから順次見直しを実施（1箇所） 令和4年度からの週休日導入に向けた周知	実施可能なものから順次見直しを実施（1箇所） 週休日導入の実施				◎	
		b 年間の搬入量に対して容量に余裕のある雪堆積場は、タンクトラックの回転効率や同時受け入れ可能台数の拡大に向け、搬入出経路や投雪場所の改良（拡大）を行うなど、稼働率をより高めるための改善を検討	—	調査検討	対応可能な堆積場（雪処理施設）から適宜改善を実施 各雪堆積場の搬入出経路や出入口の調査	対応可能な堆積場（雪処理施設）から適宜改善を実施 対象箇所の抽出に向けた検討	対応可能な堆積場（雪処理施設）から適宜改善を実施 対象箇所の選定					△
		c 雪堆積場従事者の労働環境改善に向け、近隣堆積場と調整を図りながら定期的な閉鎖日（閉鎖時間）の設定を検討	—	調整案の検討・試行	調整案の検討・試行 年末年始閉鎖期間の拡大実施	本格実施	本格実施					
排雪作業の効率化につながる雪堆積場の確保	拡充	a 新たに活用可能な市街地近郊の候補地の掘り起こし	—	新たに活用可能な候補地の掘り起こし	新たに活用可能な候補地の掘り起こし	新たに活用可能な候補地の掘り起こし	新たに活用可能な候補地の掘り起こし				○	
		b 新たな候補地の活用に向けた土地所有者や管理者との調整	—	検討中	石狩市と調整し、緑苑台地区を新規開設	大雪のため11箇所を2月以降緊急開設	・大雪に備え臨時開設箇所を事前に確保 ・5箇所の雪堆積場を新規開設したほか、新たな雪堆積場確保の検討				○	
雪堆積場の安定的な確保に向けた検討（民有地）	新規	a 複数年利用に向け、土地所有者の意向確認や周辺環境の調査	—	調査	制度検討	準備が整ったものから制度運用	準備が整ったものから制度運用				△	
		b 安定的な土地利用につながる制度内容の検討	—	検討中	制度検討	雪堆積場の方面的な偏りの可視化に向けた検討	雪堆積場の方面的な偏りの可視化				○	
雪堆積場の安定的な確保に向けた調整（公共用地）	拡充	a 公共用地の管理者の意向確認や周辺環境の調査	—	調査	協議・調整を行い整ったものから運用	協議・調整を行い整ったものから運用	協議・調整を行い整ったものから運用				○	
		b 恒久的な土地利用に向けた協議・調整	—	検討中	中沼リサイクルプラント跡地での開設に向けた調整	中沼リサイクルプラント跡地での新規開設	既存開設箇所の継続及び新たな雪堆積場の開設に向けた検討				△	
② 雪処理施設												
雪処理施設の能力増強	新規	a 新川融雪槽の能力増強	概略設計	詳細設計	改築工事	改築工事	本格運用				◎	
		b 新たな雪処理施設の整備の可能性を検討	—	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	可能性のある取組の詳細検討・調整				○
流雪溝の利用促進に向けた取組の推進	拡充	a 管理運営協議会へのアンケート調査	調査・情報提供	必要に応じて情報共有を実施	必要に応じて情報共有を実施	必要に応じて情報共有を実施	必要に応じて情報共有を実施				○	
流雪溝の更なる有効活用策の検討	拡充	b 流雪溝の利用率が低い地域の改善に向け、アンケート調査で得られた利用率が高い地域の取組に関する情報を周知	—	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	必要に応じて情報共有を実施			○	
		a 処理能力に余裕のある流雪溝について、公共排雪での活用に向けた有効活用策の検討	—	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	可能なものから取組を実施				△

視点2 除排雪作業の効率化・省力化

取組項目	種別	実施内容	策定時	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
				上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	評価		
(3) 地域内雪処理の推進												
① 民有地の活用												
地域内雪処理の推進につながる仕組みの検討	新規	地域内雪処理の推進に向け、空き地の洗い出しや活用に向けた土地所有者との調整方法などについて、先行的な他地域の事例紹介なども含め、地域（町内会）との対話を行いながら検討を実施します	—	調査	町内会との対話を行いながら地域内雪処理の推進に向けた検討を実施	調査	町内会との対話を行いながら地域内雪処理の推進に向けた検討を実施	調査	町内会との対話を行いながら地域内雪処理の推進に向けた検討を実施	調査	町内会との対話を行いながら地域内雪処理の推進に向けた検討を実施	△
除雪作業における民有地活用の検討	新規	a 空き地の活用ができそうな地域の洗い出し b 空き地活用事例の調査（ヒアリングなど） c 空き地の所有者から土地利用の承諾を得る方法（優遇策など）を検討 d 空き地の活用に向けた調整	実施	・ 空き地の洗い出しや活用事例の調査 ・ 土地所有者から承諾を得やすくなる方法（優遇策など）を検討 ・ 状況調査 ・ 関係課と協議	・ 空き地の洗い出しや活用事例の調査 ・ 土地所有者から承諾を得やすくなる方法（優遇策など）を検討	・ 空き地の洗い出しや活用事例の調査 ・ 土地所有者から承諾を得やすくなる方法（優遇策など）を検討	・ 空き地の洗い出しや活用事例の調査 ・ 土地所有者から承諾を得やすくなる方法（優遇策など）を検討	・ 空き地の洗い出しや活用事例の調査 ・ 土地所有者から承諾を得やすくなる方法（優遇策など）を検討	・ 空き地の洗い出しや活用事例の調査 ・ 土地所有者から承諾を得やすくなる方法（優遇策など）を検討	・ 空き地の洗い出しや活用事例の調査 ・ 土地所有者から承諾を得やすくなる方法（優遇策など）を検討	・ 空き地の洗い出しや活用事例の調査 ・ 土地所有者から承諾を得やすくなる方法（優遇策など）を検討	△
② 公共用地の活用												
雪置き場を考慮した公園づくりの推進	新規	a 公園再整備の際に、住民説明会などの方法により雪置き場に対する地域の意向を確認 b 雪置き場を考慮した公園の再整備	実施	・ 第4次札幌市みどりの基本計画策定（予定） ・ 調整が整った公園から雪置き場を考慮した再整備を実施	調整が整った公園から雪置き場を考慮した再整備を実施	調整が整った公園から雪置き場を考慮した再整備を実施	調整が整った公園から雪置き場を考慮した再整備を実施	調整が整った公園から雪置き場を考慮した再整備を実施	調整が整った公園から雪置き場を考慮した再整備を実施	調整が整った公園から雪置き場を考慮した再整備を実施	調整が整った公園から雪置き場を考慮した再整備を実施	○
除雪作業における公共用地活用の推進	新規	a 小規模地も含めた活用可能な土地の新規洗い出し b 活用可能な公共施設については、沿線の道路や地域の雪を搬入 c 出入口や通路などの構造が理由で活用できない施設のうち、効果的と認められる施設については、ハード面での改築を検討	実施	・ 活用候補地の新規洗い出し ・ 施設管理者との調整が整った施設から活用 ・ 施設管理者との情報共有	・ 活用候補地の新規洗い出し ・ 施設管理者との調整が整った施設から活用	・ 活用候補地の新規洗い出し ・ 施設管理者との調整が整った施設から活用	・ 活用候補地の新規洗い出し ・ 施設管理者との調整が整った施設から活用	・ 活用候補地の新規洗い出し ・ 施設管理者との調整が整った施設から活用	・ 活用候補地の新規洗い出し ・ 施設管理者との調整が整った施設から活用	・ 活用候補地の新規洗い出し ・ 施設管理者との調整が整った施設から活用	・ 活用候補地の新規洗い出し ・ 施設管理者との調整が整った施設から活用	○

令和4年度末時点における取組状況（新規・拡充の取組）
 視点3 除排雪体制の維持・安定化

取組項目	種別	実施内容	策定時	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
				上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	評価	
(1) 経営の安定化につながる取組の推進											
② 除排雪作業に必要な人材の確保											
除雪事業に参画する企業の人材確保への支援策	新規	a 除排雪作業の意義や建設業の魅力など、札幌市の除雪事業に参画する企業のイメージアップにつながる情報を札幌市のホームページで発信、及び高校や大学へのPR	-	発信可能なものから情報を発信	発信可能なものから情報を発信	発信可能なものから情報を発信	発信可能なものから情報を発信	発信可能なものから情報を発信	発信可能なものから情報を発信	○	
		b 札幌市除雪事業協会と連携して、札幌市の除雪事業に参画する企業がPRや求人のためのホームページ作成に対する支援事業を検討	-	支援事業の検討	支援事業の検討	可能なものから実施	可能なものから実施	○			
建設業の人材確保に向けた支援事業の周知	新規	a 建設業の人材確保につながる支援事業情報を取りまとめ、札幌市のホームページやパンフレットなどを活用した情報発信	-	準備	ホームページやパンフレット等を活用した支援事業の情報発信	ホームページやパンフレット等を活用した支援事業の情報発信	ホームページやパンフレット等を活用した支援事業の情報発信	ホームページやパンフレット等を活用した支援事業の情報発信	○		
建設業に就職を希望する人の入職につながる支援策の検討	新規	a 札幌市除雪事業協会と連携して、札幌市の除雪事業に参画する企業を対象とした合同企業説明会の開催に向けた検討	-	準備・調整	準備・調整	合同企業説明会の開催に向けた検討	合同企業説明会の開催に向けた検討	合同企業説明会等への参加を推奨	合同企業説明会等の開催に向けた関係部局との調整	△	
		b 高校・大学・専門学校などの学生に対する建設業のPRを実施	-	準備・検討	準備が整ったものから取組を実施	準備が整ったものから取組を実施	準備が整ったものから取組を実施	準備が整ったものから取組を実施	○		
除雪従事者の魅力向上につながる情報発信	拡充	a 除雪従事者のやりがいや達成感などがテレビや新聞など報道機関に取り上げられるよう、パブリシティ効果の高い情報を発信	-	準備・調整	準備が整ったものから適宜実施	準備が整ったものから適宜実施	準備が整ったものから適宜実施	準備が整ったものから適宜実施	○		
		b 除雪従事者のやりがいや魅力向上につながる動画を札幌市のホームページで紹介	-	準備・調整	準備が整ったものから適宜実施	準備が整ったものから適宜実施	準備が整ったものから適宜実施	準備が整ったものから適宜実施	○		
		c 除雪従事者のPRにつながるポスターやパネルを作成・掲示	-	準備・作成	準備が整ったものから適宜実施	準備が整ったものから適宜実施	準備が整ったものから適宜実施	準備が整ったものから適宜実施	○		
③ 除排雪作業に必要な機材の確保											
企業が保有する除雪機材の更新に対する支援	新規	a 札幌市除雪事業協会と連携し除雪機材購入に関する支援制度などの情報を除雪事業者へ周知	-	準備が整ったものから適宜実施	準備が整ったものから適宜実施	準備が整ったものから適宜実施	準備が整ったものから適宜実施	準備が整ったものから適宜実施	○		
		b 保有する除雪機材の維持や更新に関して積極的な投資を行う除雪事業者に対する優遇策を検討	-	検討・準備	検討・準備	準備が整ったものから取組を実施	準備が整ったものから取組を実施	準備が整ったものから取組を実施	△		

視点3 除排雪体制の維持・安定化

取組項目	種別	実施内容	策定時	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
				上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績		
(2) 除雪従事者の定着・育成支援											
① 労働環境の改善											
作業経路などのナビゲーションシステムの導入【ICT活用】	新規	除雪機械の運行ルートや作業時の注意ポイントを可視化するシステムを導入します	—	—	—	—	—	—	システムの検討	—	△
作業日報などの提出書類の電子化【ICT活用】	新規	除雪作業日報作成支援システムの導入を進めます	調査・検討	システム構築 試験運用(100台)	システム改良 部分運用(500台)	システム改良 部分運用(500台)	システム改良 部分運用(500台)	システム改良 部分運用(500台)	システム改良 部分運用(500台)	システム改良 部分運用(500台)	△
電話対応のコールセンター化の検討【ICT活用】	新規	a コールセンター化に向けた検討 b コールセンター化に向けた準備・調整(システム構築) c コールセンターの設置・運営	—	実態調査	実態調査 実現に向けた検討	実態調査 実現に向けた検討	実態調査 実現に向けた検討	実態調査 実現に向けた検討	実態調査 実現に向けた検討	実態調査 実現に向けた検討	△
定期的な休暇取得につながる仕組みの検討	新規	a 除雪従事者の不規則な夜間勤務などの解消を検討 b 除雪センターの夜間閉鎖の検討 c 除雪従事者の定期的な休日確保に向け、週末の除雪作業の廃止を検討	—	「生活道路の除雪方法変更に向けた検討」と併せて実施 試行実施(3地域)	「生活道路の除雪方法変更に向けた検討」と併せて実施 試行実施(13地域)	「生活道路の除雪方法変更に向けた検討」と併せて実施 試行実施(23地域) (大雪により一部中止)	「生活道路の除雪方法変更に向けた検討」と併せて実施 試行実施(23地域) (大雪により一部中止)	「生活道路の除雪方法変更に向けた検討」と併せて実施 試行実施(23地域) (大雪により一部中止)	「生活道路の除雪方法変更に向けた検討」と併せて実施 試行実施(23地域) (大雪により一部中止)	「生活道路の除雪方法変更に向けた検討」と併せて実施 試行実施(23地域) (大雪により一部中止)	○
				「電話対応のコールセンター化の検討」と併せて実施 検討中	「電話対応のコールセンター化の検討」と併せて実施 概略検討	「電話対応のコールセンター化の検討」と併せて実施 概略検討	「電話対応のコールセンター化の検討」と併せて実施 概略検討	「電話対応のコールセンター化の検討」と併せて実施 概略検討	「電話対応のコールセンター化の検討」と併せて実施 概略検討	「電話対応のコールセンター化の検討」と併せて実施 概略検討	△
				仕組や効果の検討 検討中	仕組や効果の検討	仕組や効果の検討	必要性の周知	必要性の周知	必要性の周知	必要性の周知	○
② 育成支援の充実											
除雪機械の操作技術を学べる研修の実施	拡充	a 参加者の作業内容や習得レベルに応じた、操作の知識や技術を学べる夏期の研修を開催 b 指導員となる除雪オペレーターの研修を開催 c 熟練除雪オペレーターから作業の注意点や操作技術を学べる冬期の研修を開催	研修実施	研修の継続実施	研修の継続実施	研修の継続実施	研修の継続実施	研修の継続実施	研修の継続実施	研修の継続実施	○
除雪オペレーターの技術の継承【ICT活用】	新規	a 視線の動きを追跡できるカメラ(アイカメラ)を活用して、熟練除雪オペレーターの作業時の目の動きを見える化した運転技術習得教材の作成に向けた検討 b 映像とハンドル操作による練習が可能なシミュレーター作成の検討	—	—	—	—	—	—	ICTを活用した教材等の作成に向けた検討	ICTを活用した教材等の作成に向けた検討	△
				—	—	—	—	—	ICTを活用したシミュレーター等の作成に向けた検討	ICTを活用したシミュレーター等の作成に向けた検討	△

令和4年度末時点における取組状況（新規・拡充の取組）
視点4 雪対策における市民力の結集

取組項目	種別	実施内容	策定時	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
				上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績		
(1) 市民と行政との協働の推進											
① 市民と行政の役割											
市民と行政の協働体制の構築に向けた情報発信	拡充	a 冬のくらしガイドなどの広報媒体を活用した広報	実施	継続的に情報発信を実施 冊子「冬のくらしガイド」を作成・配布	継続的に情報発信を実施 冊子「冬のくらしガイド」を作成・配布	継続的に情報発信を実施 冊子「冬のくらしガイド」を作成・配布	継続的に情報発信を実施 冊子「冬のくらしガイド」を作成・配布	◎			
		b バブリシティ効果なども踏まえた、より効果的な広報の検討	-	より効果的な広報の検討 検討実施	より効果的な広報の検討 ホームページでのマンガや動画を活用した情報発信	可能な取組から実施 ホームページでのマンガや動画を活用した情報発信	可能な取組から実施 ホームページでのマンガや動画を活用した情報発信	○			
砂まき活動の拡大に向けた取組の推進	拡充	a 人通りの多少や既設砂箱の利用状況などを考慮したうえで、砂箱の効果的な配置を検討	-	砂まき活動の拡大に向けた取組を実施	砂まき活動の拡大に向けた取組を実施	砂まき活動の拡大に向けた取組を実施	砂まき活動の拡大に向けた取組を実施	○			
		b 持ち運びしやすい砂袋の検討 c 砂まき活動や春先の清掃活動への参加・協力のPR	-	御守型砂袋の試作・配布・街頭イベントを実施	御守型砂袋の作成・配布	c 動画を作成しWeb広告などの媒体を活用した広報活動を実施	c 動画を活用した広報活動を実施	○			
(2) 除雪ボランティア活動の取組強化											
① 除雪ボランティア活動の推進											
除雪ボランティアのコーディネート	拡充	除雪ボランティアのコーディネートの実施	1団体	準備・調整 2団体	コーディネートの実施 4団体	コーディネートの実施 6団体	コーディネートの実施 8団体	○			
除雪ボランティア活動に対する支援	拡充	現在実施している除雪用具貸出制度などに加え、除雪ボランティアの拡大につながる更なる支援策を進めます	実施 116団体	ボランティア実施団体 122団体	ボランティア実施団体 128団体	ボランティア実施団体 134団体	ボランティア実施団体 140団体	○			
除雪ボランティアに係る町内会活動への更なる支援に向けた検討	新規	a 更なる支援に向けた検討を実施	-	検討	検討	可能な取組から実施	可能な取組から実施	△			
② 担い手確保に向けた情報発信											
除雪ボランティアの担い手確保に向けた広報	拡充	a 福祉除雪事業の地域協力員の募集のため、新聞などのマスメディアを活用	-	担い手確保に向けた効果的な広報を実施	担い手確保に向けた効果的な広報を実施	担い手確保に向けた効果的な広報を実施	担い手確保に向けた効果的な広報を実施	△			
		b 除雪ボランティアの活動事例を取りまとめ、札幌市のホームページなどで紹介 c 福祉除雪事業への協力企業のイメージアップとして、企業名などを札幌市のホームページなどに掲載	-	ホームページを活用	ホームページでの活動事例紹介を実施	ホームページでの活動事例紹介動画を作成	ホームページでの活動事例紹介を実施 除雪ボランティアの紹介動画を作成	○			
除雪ボランティア活動の普及に向けた広報	新規	a 除雪ボランティアを行っている団体や企業などの取材 b 除雪ボランティアの活動事例を取りまとめ、札幌市のホームページなどで紹介 c 除雪ボランティアのニーズに関する情報を発信	-	除雪ボランティア活動の普及に向けた広報を実施 ハンドブックの検討	除雪ボランティア活動の普及に向けた広報を実施 ハンドブックの作成	除雪ボランティア活動の普及に向けた広報を実施	除雪ボランティア活動の普及に向けた広報を実施	○			
		d 除雪ボランティアを実施している団体や除雪ボランティアを始めようと考えている団体などに対して、札幌市が実施している支援制度や活動事例などをまとめたハンドブックを作成	-	企業が実施した地域の除雪ボランティア活動について、ホームページで紹介	ハンドブック検討	企業が実施した地域の除雪ボランティア活動について、ホームページおよび動画で紹介	ホームページでの広報を実施	○			
(3) 歩く人に優しい冬のみちづくり											
① 砂まき活動の推進											
砂まき活動の促進につながるイベントの開催	新規	a 街頭啓発やCMなどの媒体を活用した砂まきキャンペーンを全市で実施	-	継続的にイベントを開催	継続的にイベントを開催	継続的にイベントを開催	継続的にイベントを開催	○			
		b 砂まき体験を盛り込んだ出前講座や雪体験授業の実施	-	a 街頭イベントを実施 b 雪体験授業で砂まき体験を実施	新型コロナウイルスによる影響を踏まえ、デジタルサイネージによる広報を実施	a 動画を作成しCMなどの媒体を活用した広報活動を実施 b 雪体験授業で砂まき体験を実施	a 動画を媒体を活用した広報活動を実施 b 雪体験授業で砂まき体験を実施	○			
砂まき協力企業の拡大に向けたPR	拡充	a 札幌市のホームページでの協力企業の紹介	-	継続的に企業PRを実施 HPで紹介	継続的に企業PRを実施 HPで紹介	継続的に企業PRを実施 HPで紹介	継続的に企業PRを実施 HPで紹介	○			
		b 砂まき協力企業ステッカーの作成・配布	-	ステッカー作成 店舗との実施調整	砂まき協力企業においてステッカー掲示 店舗との実施調整	砂まき協力企業においてステッカー掲示 店舗との実施調整	砂まき協力企業においてステッカー掲示 店舗との実施調整	△			
② 冬の安心・安全への意識向上											
冬のリスクから身を守るための留意点の周知	新規	a ウィンターライフ推進協議会と連携した啓発活動	-	準備・調整	準備が整ったものから広報を実施	準備が整ったものから広報を実施	準備が整ったものから広報を実施	○			
		b 札幌市ホームページに外国人を含む観光客向けの啓発情報ページを作成 c 啓発情報ページのPRチラシを作成し、観光協会やホテルなど観光客が手にしやすい施設に配架	-	街頭イベントを実施	a. ウィンターライフ推進協議会と連携した啓発活動 b. ホームページの作成 c. テレビやデジタルサイネージを活用したホームページへの誘導広告の実施	a. ウィンターライフ推進協議会と連携した啓発活動 b. ホームページの運用 c. テレビやデジタルサイネージを活用したホームページへの誘導広告の実施	a. ウィンターライフ推進協議会と連携した啓発活動 b. ホームページの運用 c. テレビやデジタルサイネージを活用したホームページへの誘導広告の実施	○			

令和4年度末時点における取組状況（新規・拡充の取組）
視点5 雪対策に関する広報の充実

取組項目	種別	実施内容	策定時	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
				上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績	上段：計画、下段：実績		
(1) 冬の暮らしに関する広報											
① 冬のルール・マナー											
「ルール順守」 「マナー向上」に つながる情報発信	拡充	a 冬の暮らしガイドなどの広報媒体を活用した 広報	実施	継続的に情報発信を実施 冊子「冬の暮らしガイド」 の作成・配布	継続的に情報発信を実施 冊子「冬の暮らしガイド」 の作成・配布	継続的に情報発信を実施 冊子「冬の暮らしガイド」 の作成・配布	継続的に情報発信を実施 冊子「冬の暮らしガイド」 の作成・配布	継続的に情報発信を実施 冊子「冬の暮らしガイド」 の作成・配布	継続的に情報発信を実施 冊子「冬の暮らしガイド」 の作成・配布	継続的に情報発信を実施 冊子「冬の暮らしガイド」 の作成・配布	◎
		b バブリシティ効果なども踏まえた、より効果 的な広報の検討	—	より効果的な広報の検討 検討中	より効果的な広報の検討 除雪作業の難しさを 伝える動画の作成 ・ホームページでの 動画配信	より効果的な広報の検討 路上駐車や雪出しに 関する動画の作成 ・ホームページでの 動画配信	可能な取組から実施 可能な取組から実施	可能な取組から実施 可能な取組から実施	可能な取組から実施 可能な取組から実施	可能な取組から実施 可能な取組から実施	可能な取組から実施 可能な取組から実施
② 冬の暮らしに関する教育の推進											
雪体験授業の 充実・拡大	拡充	a 除雪作業や雪に関する出前授業と除雪機械試 乗や砂入りペットボトル作成などを行う体験 授業とを組み合わせた「雪体験授業」など を、これまで実施してきた小学校に加え、幼 稚園や中学校などに拡大	実施	準備・調整 雪体験授業の実施 (小学校：180校)	準備・調整 雪体験授業の実施 (小学校：158校)	小学校に加え各校（園）の ニーズに合わせて雪体験授業 等を実施 10校（園） ・雪体験授業の実施 (小学校：179校) ・雪体験教室を実施 (幼稚園：5園)	小学校に加え各校（園）の ニーズに合わせて雪体験授業 等を実施 20校（園） ・雪体験授業の実施 (小学校：185校) ・雪体験教室を試行実施 (幼稚園：5園)	小学校に加え各校（園）の ニーズに合わせて雪体験授業 等を実施 10校（園） ・雪体験授業の実施 (小学校：179校) ・雪体験教室を実施 (幼稚園：5園)	小学校に加え各校（園）の ニーズに合わせて雪体験授業 等を実施 20校（園） ・雪体験授業の実施 (小学校：185校) ・雪体験教室を試行実施 (幼稚園：5園)	小学校に加え各校（園）の ニーズに合わせて雪体験授業 等を実施 10校（園） ・雪体験授業の実施 (小学校：179校) ・雪体験教室を実施 (幼稚園：5園)	○
小学校における 雪に関する授業の 充実	拡充	a 子ども達の除雪作業への理解や雪対策に対す る関心が高まるよう小学校における雪に関す る授業の充実を図る	—	適宜見直しを行いながら 授業の充実を図る 配布用紙芝居の修正	適宜見直しを行いながら 授業の充実を図る 適宜見直し	適宜見直しを行いながら 授業の充実を図る 配布用紙芝居の修正	適宜見直しを行いながら 授業の充実を図る 配布用紙芝居の修正	適宜見直しを行いながら 授業の充実を図る 配布用紙芝居の修正	適宜見直しを行いながら 授業の充実を図る 配布用紙芝居の修正	適宜見直しを行いながら 授業の充実を図る 配布用紙芝居の修正	○
(2) 多様な手法を活用した効果的な広報・啓発											
① 情報発信型の広報											
様々な広報ツールを 複合的に活用した 情報発信	拡充	a 新聞やテレビなどの注目度の高いメディアに 加え、SNSやデジタルサイネージなど新た な広報ツールを複合的に活用し、効果的な広 報を実施	実施	効果的な広報を実施 地下歩行空間のデジタル サイネージを活用したPR動 画配信等を実施	効果的な広報を実施 テレビやデジタルサイネ ージなどこれまで活用してき た広報ツールに加え、新た にLINEによる情報発信 を開始	効果的な広報を実施 テレビ、デジタルサイネ ージ及びSNS（LINE、 Twitter）により情報発信	効果的な広報を実施 テレビ、デジタルサイネ ージ及びSNS（LINE、 Twitter）、劇場CMによ り情報発信	効果的な広報を実施 テレビ、デジタルサイネ ージ及びSNS（LINE、 Twitter）、劇場CMによ り情報発信	効果的な広報を実施 テレビ、デジタルサイネ ージ及びSNS（LINE、 Twitter）、劇場CMによ り情報発信	効果的な広報を実施 テレビ、デジタルサイネ ージ及びSNS（LINE、 Twitter）、劇場CMによ り情報発信	○
		b 前日の作業実施箇所や当日の作業予定に加 え、現在実施中の作業箇所などについて、テ レビのデータ放送やホームページなどで公開 するシステムを検討	—	生活道路の新雪除雪の出動 状況をテレビのデータ放送 で配信（4局）	生活道路の新雪除雪の出動 状況をテレビのデータ放送 で配信（4局）	生活道路の新雪除雪の出動 状況をテレビのデータ放送 で配信（4局）	生活道路の新雪除雪の出動 状況をテレビのデータ放送 で配信（4局）	生活道路の新雪除雪の出動 状況をテレビのデータ放送 で配信（4局）	生活道路の新雪除雪の出動 状況をテレビのデータ放送 で配信（4局）	生活道路の新雪除雪の出動 状況をテレビのデータ放送 で配信（4局）	生活道路の新雪除雪の出動 状況をテレビのデータ放送 で配信（4局）
③ 行動型の啓発											
悪質な路上駐車に 対する実効性のある 対応	拡充	a 広報の強化（冬の暮らしガイドなどを活用 し、路上駐車に関する法令や除雪作業への影 響などを周知する広報を実施）	実施	取組を継続 冊子「冬の暮らしガイ ド」の作成・配布 ・合同パトロールの実施 (20回)	取組を継続 冊子「冬の暮らしガイ ド」の作成・配布 ・合同パトロールの実施 (4回)	取組を継続 冊子「冬の暮らしガイ ド」の作成・配布 ・合同パトロールの実施 (4回)	取組を継続 冊子「冬の暮らしガイ ド」の作成・配布 ・合同パトロールの実施 (4回)	取組を継続 冊子「冬の暮らしガイ ド」の作成・配布 ・合同パトロールの実施 (4回)	取組を継続 冊子「冬の暮らしガイ ド」の作成・配布 ・合同パトロールの実施 (4回)	取組を継続 冊子「冬の暮らしガイ ド」の作成・配布 ・合同パトロールの実施 (4回)	○
		b 町内会や警察と連携した合同パトロールの計 画的実施	実施	準備・調整	状況に応じて取組を強化	状況に応じて取組を強化	状況に応じて取組を強化	状況に応じて取組を強化	状況に応じて取組を強化	状況に応じて取組を強化	状況に応じて取組を強化
「雪パト隊」の設置 に向けた検討	新規	c 指導・啓発の強化（町内会や警察と連携し、 路上駐車が多いエリアに特化したチラシのポ スティングを行うなど、チラシを活用した取 組を実施）	実施	指導強化に向けた準備・調 整	これまでの取組を継続実施	市民対応時に活用可能な チラシを作成	市民対応時に活用可能な チラシを作成	市民対応時に活用可能な チラシを作成	市民対応時に活用可能な チラシを作成	市民対応時に活用可能な チラシを作成	△
		d 常習性があるような悪質な路上駐車に對する 個別指導の強化（警察と連携した個別指導な どの実施）	—	実態調査を実施	悪質な雪出しに對する ピンポイントの指導 強化に向けた調査の 実施	悪質な雪出しに對する ピンポイントの指導 強化に向けた調査の 実施	悪質な雪出しに對する ピンポイントの指導 強化に向けた調査の 実施	悪質な雪出しに對する ピンポイントの指導 強化に向けた調査の 実施	悪質な雪出しに對する ピンポイントの指導 強化に向けた調査の 実施	悪質な雪出しに對する ピンポイントの指導 強化に向けた調査の 実施	悪質な雪出しに對する ピンポイントの指導 強化に向けた調査の 実施
除雪作業に對する 理解や協力に つながる工夫	新規	a 広報の強化（冬の暮らしガイドなどを活用 し、道路への雪出しが道路交通に与える影響 などを周知する広報を実施）	実施	取組を継続 冊子「冬の暮らしガイ ド」を全世帯に配布	取組を継続 冊子「冬の暮らしガイ ド」を全世帯に配布	取組を継続 冊子「冬の暮らしガイ ド」を全世帯に配布	取組を継続 冊子「冬の暮らしガイ ド」を全世帯に配布	取組を継続 冊子「冬の暮らしガイ ド」を全世帯に配布	取組を継続 冊子「冬の暮らしガイ ド」を全世帯に配布	取組を継続 冊子「冬の暮らしガイ ド」を全世帯に配布	○
		b 指導・啓発の強化（指導・啓発用に特化した チラシを作成）	実施	準備・調整 チラシ作成の準備調整	状況に応じて取組を強化 チラシの検討・作成	状況に応じて取組を強化 チラシの検討・作成	状況に応じて取組を強化 市民対応時に活用可能な チラシを作成	状況に応じて取組を強化 市民対応時に活用可能な チラシを作成	状況に応じて取組を強化 市民対応時に活用可能な チラシを作成	状況に応じて取組を強化 市民対応時に活用可能な チラシを作成	状況に応じて取組を強化 市民対応時に活用可能な チラシを作成
除雪作業に對する 理解や協力に つながる工夫	新規	c 常習性があるような悪質な雪出しに對する指 導強化（パトロールなどを専門に行う「雪パ ト隊」の設置を検討）	—	実態調査	悪質な雪出しに對する ピンポイントの指導 強化に向けた調査の 実施	悪質な雪出しに對する ピンポイントの指導 強化に向けた調査の 実施	悪質な雪出しに對する ピンポイントの指導 強化に向けた調査の 実施	悪質な雪出しに對する ピンポイントの指導 強化に向けた調査の 実施	悪質な雪出しに對する ピンポイントの指導 強化に向けた調査の 実施	悪質な雪出しに對する ピンポイントの指導 強化に向けた調査の 実施	△
		a 除雪機械に設置している名札の大きさや設置 位置の検討	一部 実施	準備・調整 排雪作業の範囲等を表示 した旗等の設置を一部実施	準備・調整 排雪作業の範囲等を表示 した旗等の設置を一部実施	可能なものから実施 排雪作業の範囲等を表示 した旗等の設置を一部実施	可能なものから実施 排雪作業の範囲等を表示 した旗等の設置を一部実施	可能なものから実施 排雪作業の範囲等を表示 した旗等の設置を一部実施	可能なものから実施 排雪作業の範囲等を表示 した旗等の設置を一部実施	可能なものから実施 排雪作業の範囲等を表示 した旗等の設置を一部実施	可能なものから実施 排雪作業の範囲等を表示 した旗等の設置を一部実施
除雪作業に對する 理解や協力に つながる工夫	新規	b 排雪作業の作業範囲や問い合わせ先を表示 した旗やコーンの設置	—	検討	検討	可能なものから実施	可能なものから実施	可能なものから実施	可能なものから実施	可能なものから実施	△
		c 色や表示を統一した安全チョッキや防寒着な どの着用	—	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中